第1回宗像市国民保護協議会議事録

日　時:平成 29 年 12 月 14 日(木)11 時 30 分～12 時 00 分

場　所:宗像市役所 103 会議室

出席者:谷井会長、菊池　委員、佐野　委員、木原　委員、松永　委員、北島　委員、久芳　委員、遠矢　委員、灘辺　委員、石松　委員、亀山　委員、芳野　委員、津留　委員、北村　委員、福澤　委員、泉　委員、吉武　委員、伊賀　委員、水上　委員、花田　委員、中村　委員、柴田　委員、石橋　委員

欠席者:中島委員、辻　委員、

事務局:(地域安全課)髙﨑課長、田中係長、藤原、田中、松尾

【 会議内容 】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 会長あいさつ

   国民保護法第 35 条の規定により、宗像市では平成 24 年度に計画を策定、平成 28 年度改訂した。

   本計画は、宗像市における国民保護施策の基本方針となる。

   今年度は北朝鮮による化学兵器(VX,サリン)ミサイル、核実験等により国民保護施策への意識が極めて高まっている。

   皆さんにおかれましても、引き続き、高い意識で国内外の情勢等にご関心を持ち続けていただきたい。
4. 委員・事務局の紹介
5. 国民保護法等について

   以下の項目について説明(説明内容は省略)資料

   ・今年度の経過

   ・J アラート、核ミサイル等

(質疑・応答)

水 上 委 員:　放射能測定器の準備はしているか。

田 中 係 長:　市では 1 台所有しており、毎月初めに計測し、HP に掲載している。

石 橋 委 員:　J アラートのことは、HP や市広報紙にも掲載されていたが、それだけでは、市民がどの程度認識しているか、心配している。

髙 﨑 課 長:　引き続き広報には力を入れていくが、自主防災組織や自治会の会合など、機会あるごとに周知していきたい。

谷 井 会 長：　危機感がないことは問題であるが、核ミサイルについてはあまり馴染みがなく、強烈な印象があったが、取るべき防護処置など、周知していくことが必要である。

6. その他

質疑･応答なし

7. 閉会